

基本計画書

基本計画											
事項		記入欄							備考		
計画の区分		研究科の専攻の設置									
フリガナ 設置者		カザワカクインダイク 学校法人 金沢学院大学									
フリガナ 大学院の名称		カザワカクインダイクダイクイン 金沢学院大学大学院（Kanazawa Gakuin University Graduate School）									
大学本部の位置		石川県金沢市末町10の5番地									
大学院の目的		金沢学院大学大学院は、広い視野と現代に則した理念に基づく学識を授けるとともに、専門分野における研究能力及び高度の専門性を有する職業等に必要な能力を養い、併せて生涯学習を支える指導者を育成することを目的とする。									
新設学部等の目的		心理学専攻（M）では、心理学に関する高度な専門知識と技能を有し、専門家としてその知識と技能を以て心理・社会的な健康の維持や回復に貢献する人材、クライアントと家族、職場、学校などとの調整を図り、クライアントの問題を解決に向けて有効な支援や助言ができる人材、そして現代社会と社会が内包する問題に対する幅広い知見を有し、さまざまな場面で心理学の専門家として助言や支援をおこなうことができる人材の養成を教育研究上の目的とする。									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地			
	人文学研究科 [Graduate School of Humanities]	年	人	年次人	人		年 月 第 年次			【基礎となる学部】 文学部 文学科 第14条特例の実施	
	心理学専攻（M） [Studies in Psychology]	2	4	－	8	修士（文学） 【Master of Humanities】	令和5年4月 第1年次	石川県金沢市末町10の5番地			
	計		4	－	8						
同一設置者内における変更状況 （定員の移行，名称の変更等）											
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数					
		講義	演習	実験・実習	計						
	人文学研究科 心理学専攻（M）	4 科目	10 科目	8 科目	22 科目	32 単位					
教員組織の概要	学部等の名称			専任教員等						兼任教員等	
				教授	准教授	講師	助教	計	助手		
	新設分	人文学研究科 心理学専攻（M）	2 人 (2)	1 人 (1)	2 人 (2)	0 人 (0)	5 人 (5)	0 人 (0)	4 人 (4)		
		計	2 人 (2)	1 人 (1)	2 人 (2)	0 人 (0)	5 人 (5)	0 人 (0)	4 人 (4)		
	既設分	大学院経営情報学研究科 経営情報学専攻（M）	13 (13)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	0 (0)		
		大学院経営情報学研究科 経営情報学専攻（D）	9 (9)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	0 (0)		
		大学院スポーツ健康学研究科 スポーツ健康学専攻（M）	6 (6)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	9 (9)	0 (0)	0 (0)		
		大学院人文学研究科 人文学専攻（M）	11 (11)	2 (2)	3 (3)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	2 (2)		
		計	30 (30)	7 (7)	3 (3)	1 (1)	41 (41)	0 (0)	2 (2)		
	合計			32 (32)	8 (8)	5 (5)	1 (1)	46 (46)	0 (0)	6 (6)	

教員以外の職員の概要	職 種			専 任		兼 任		計							
	事 務 職 員			76人 (76)		0人 (0)		76人 (76)							
	技 術 職 員			5 (5)		0 (0)		5 (5)							
	図 書 館 専 門 職 員			1 (1)		0 (0)		1 (1)							
	そ の 他 の 職 員			0 (0)		0 (0)		0 (0)							
	計			82 (82)		0 (0)		82 (82)							
校 地 等	区 分		専 用		共 用		共用する他の学校等の専用		計		◆共用する他の学校 金沢学院短期大学 (必要面積:3,200㎡) ◆運動場用地(専用)借用面積:1,386㎡、期間:25年 ◆その他(共用)借用面積:919㎡、借用期間10年 1,978㎡、借用期間21年(女子学生寮敷地)				
	校 舎 敷 地		0 ㎡		82,501 ㎡		0 ㎡		82,501 ㎡						
	運 動 場 用 地		35,590 ㎡		10,612 ㎡		0 ㎡		46,202 ㎡						
	小 計		35,590 ㎡		93,113 ㎡		0 ㎡		128,703 ㎡						
	そ の 他		31,610 ㎡		9,639 ㎡		0 ㎡		41,249 ㎡						
	合 計		67,200 ㎡		102,752 ㎡		0 ㎡		169,952 ㎡						
校 舎			専 用		共 用		共用する他の学校等の専用		計		金沢学院短期大学と併用 (必要面積:3,650㎡)				
			16,288㎡		16,984㎡		5,107㎡		38,379㎡						
			(16,288㎡)		(16,984㎡)		(5,107㎡)		(38,379㎡)						
教室等		講義室		演習室		実験実習室		情報処理学習施設		語学学習施設		大学全体(一部、金沢学院短期大学と共用)			
		50 室		13 室		43 室		13 室 (補助職員 3人)		3 室 (補助職員 2人)					
専 任 教 員 研 究 室			新設学部等の名称				室 数				申請研究科全体				
			人文学研究科心理学専攻				5 室								
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称		図書 〔うち外国書〕 冊		学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕		視聴覚資料 点		機械・器具 点		標本 点		◆図書は大学及び短期大学全体での共用分を含む 図書 14,851冊 〔1,137〕 学術雑誌 669冊 〔364〕 ◆機械・器具・標本は基礎学部と共用分を含む
	人文学研究科心理学専攻		5,881 [860] (5,735 [855])		31 [16] (30 [16])		0 [0] (0 [0])		120 (114)		1,678 (1,668)		4 (4)		
	計		5,881 [860] (5,735 [855])		31 [16] (30 [16])		0 [0] (0 [0])		120 (114)		1,678 (1,668)		4 (4)		
図書館			面積		閲覧座席数			収 納 可 能 冊 数				大学全体			
			2,755 ㎡		335 席			229,914 冊							
体育館			面積		体育館以外のスポーツ施設の概要										
			3,391 ㎡		屋 内 練 習 場 テ ニ ス コ ー ト										
経 費 積 及 持 続 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分		開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	共同研究費は大学全体				
		教員1人当り研究費等			150千円	150千円									
		共同研究費等			900千円	900千円									
		図書購入費		2,438千円	250千円	250千円									
		設備購入費		2,632千円	773千円	0千円									
	学生1人当り納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次							
			1,090千円	890千円	千円	千円	千円	千円							
	学生納付金以外の維持方法の概要				私立大学等経常費補助金、資産運用収入										

	大学の名称	金沢学院大学								
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	定 員 超過率	開設 年度	所 在 地	
		年	人	年次 人	人		倍			
既 設 大 学 等 の 状 況	文学部			3年次			1. 13		石川県金沢市末町10 の5番地	◆平成29年度編入学定 員減(3年次△10人:文 学科)、令和3年度編入 学定員減(3年次△2 人:文学科) ◆令和3年度入学定員 増(30人:文学科) ◆令和2年度入学定員 減(△30人:文学部教 育学科) ◆令和4年より学生募集 停止(文学部教育学科)
	文学科	4	180	8	676	学士(文学)	1. 14	平成27年度		
	教育学科	4	－	－	－	学士(教育学)	－	平成30年度	同上	
	教育学部			3年次						
	教育学科	4	70	5	70	学士(教育学)	1. 02	令和4年度	同上	
	経営情報学部						－			
	経営情報学科	4	－	－	－	学士(経営学)	－	平成28年度	同上	
	経営ビジネス学科	4	－	－	－	学士(経営学)	－	平成18年度	同上	
	経営システム学科	4	－	－	－	学士(経営学)	－	平成18年度	同上	
	経済学部			3年次			1. 12			
	経済学科	4	110	5	275	学士(経済学)	1. 00	令和2年度	同上	
	経営学科	4	70	5	195	学士(経営学)	1. 31	令和2年度	同上	
	経済情報学部						1. 09			
	経済情報学科	4	70	－	210	学士(経済情報学)	1. 09	令和2年度	同上	
	芸術学部			3年次			1. 14			
	芸術学科	4	70	2	284	学士(芸術学)	1. 14	平成28年度	同上	
	人間健康学部						－			
	スポーツ健康学科	4	－	－	－	学士(スポーツ 健康学)	－	平成23年度	同上	
	健康栄養学科	4	－	－	－	学士(栄養学)	－	平成28年度	同上	
	スポーツ科学部			3年次			1. 14			
	スポーツ科学科	4	150	10	300	学士(スポーツ 科学)	1. 14	令和3年度	同上	
	栄養学部			3年次			1. 06			
	栄養学科	4	80	5	160	学士(栄養学)	1. 06	令和3年度	同上	
	大学院経営情報学研究科									
	経営情報学専攻 (博士前期課程)	2	10	－	20	修士(経営情報 学)	0. 35	平成11年度	同上	
	経営情報学専攻 (博士後期課程)	3	4	－	12	博士(経営情報 学)	0. 08	平成17年度	(サテライト教室:石川県金沢 市南町3番2号南町中央 ビル)	
	大学院人文学研究科									
	人文学専攻 (修士課程)	2	5	－	10	修士(文学)	0. 40	平成20年度	同上	
	大学院スポーツ健康学研究科									
	スポーツ健康学専攻 (修士課程)	2	5	－	10	修士(スポーツ 健康学)	0. 40	平成27年度	同上	

既設大学等の状況	大 学 の 名 称	金沢学院短期大学								
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	定 員 超過率	開設 年度	所 在 地	
	幼児教育学科	年 2	人 50	年次 人 —	人 100	短期大学士(幼児教育学)	0.86	平成30年度	石川県金沢市末町10番地	
	現代教養学科	2	50	—	100	短期大学士(教養)	1.13	平成28年度	同上	
	食物栄養学科	2	60	—	120	短期大学士(栄養学)	0.92	平成17年度	同上	◆平成30年度入学定員減(△50人:現代教養学科) ◆平成28年度入学定員減(△20人:食物栄養学科)
附属施設の概要		該当なし								

教 育 課 程 等 の 概 要

(人文学研学科心理学専攻)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	保健医療分野に関する理論と支援の展開	1		2			○				1			兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	共同 共同
	福祉分野に関する理論と支援の展開	1		2			○				1				
	教育分野に関する理論と支援の展開	1		2			○								
	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	1		2			○								
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	1		2			○								
	心理的アセスメントに関する理論と実践	1		2				○	1		1			兼1 兼1	共同 共同
	心理支援に関する理論と実践	1		2				○	1		1				
	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	1		2				○	1					兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	共同 共同 共同 共同 共同
	心の健康教育に関する理論と実践	1		2				○	1		1				
	心理実践実習A	1		4				○	1		1				
	心理実践実習B	1		4				○	1		1				
	心理実践実習C	2		4				○	1		1				
	心理実践実習D	2		4				○	1		1				
	計量心理学特論Ⅰ	1		2		○					1			兼3	—
	計量心理学特論Ⅱ	1		2		○					1				
	行動分析学特論Ⅰ	1		2		○			1						
	行動分析学特論Ⅱ	1		2		○			1						
	心理支援法演習	2		2			○		1						
	高齢者臨床心理学演習	2		2			○				1				
	プロトコル分析演習Ⅰ	2		2			○			1					
	プロトコル分析演習Ⅱ	2		2			○			1					
	小計（21科目）		0	50	0	—			2	1	2				
	特論演習	2	4				○		2	1	2				
	小計（1科目）	—	4	0	0	—			2	1	2				
合計（22科目）		—	4	50	0	—			2	1	2			兼3	—
学位又は称号		修士（文学）		学位又は学科の分野			文学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
必修科目4単位を含めて32単位以上を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。 なお、他専攻科目の修了要件への認定は8単位を限度とする。							1学年の学期区分				2学期				
							1学期の授業期間				15週				
							1時限の授業時間				90分				

教 育 課 程 等 の 概 要 （ 既 設 ）														
（文学部文学科）														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教 養 科 目	初 年 次 教 育	学修基礎a	1Q1	1		○			1		4			兼1
		学修基礎b	1Q2	1		○			1		4			兼1
		コンピュータ基礎演習Ⅰ	1前	2			○							兼2
		コンピュータ基礎演習Ⅱ	1後	2			○							兼2
		小計（4科目）	—	6			—		1		4			兼3
	一 般 教 養	哲学Ⅰ	1前	2		○								兼1
		哲学Ⅱ	1後	2		○								兼1
		法学Ⅰ	1前	2		○								兼1
		法学Ⅱ（日本国憲法）	1後	2		○								兼1
		経済学Ⅰ	1前	2		○								兼1
		経済学Ⅱ	1後	2		○								兼1
		社会学Ⅰ	1前	2		○								兼1
		社会学Ⅱ	1後	2		○								兼1
		民俗学Ⅰ	1前	2		○								兼1
		民俗学Ⅱ	1後	2		○								兼1
		自然科学概論Ⅰ	1前	2		○								兼1
		自然科学概論Ⅱ	1後	2		○								兼1
		健康科学	1後	2		○								兼1
		スポーツ科学	1前	2		○								兼1
		金沢まち学Ⅰa	1後	1		○			1					
		金沢まち学Ⅰb	1後	1		○			1					
		金沢まち学Ⅱ	2前	2		○								兼1
		コンピュータ活用演習Ⅰ	2後	2			○							兼1
		コンピュータ活用演習Ⅱ	2前	2			○							兼1
		小計（19科目）	—	36			—		1					兼10
	キ ャ リ ア 教 育	FSP講座	1前	2		○			1		2			兼1
		キャリアデザインⅠ	1後	2		○			2		1			兼1
		キャリアデザインⅡ	2前	2		○				1	1			兼2
		キャリアデザインⅢ	2後	2		○				1	1			兼2
		キャリアプランニングⅠ	3前	2		○			2					
		キャリアプランニングⅡ	3後	2		○			1					兼1
		就業体験（インターンシップ等）	1～4通	1				○	1					
		地域貢献Ⅰ（ボランティア等）	1～4通	1				○	1					
		地域貢献Ⅱ（ボランティア等）	1～4通	1				○	1					
		小計（9科目）	—	8	7		—		6	1	3			兼3
外 国 語 科 目	第 一 外 国 語	基礎英語Ⅰ	1前	2		○			1	1	3			兼1
		基礎英語Ⅱ	1後	2		○			1	1	3			兼1
		English CommunicationⅠ	1前	2		○			1		1			兼2
		English CommunicationⅡ	1後	2		○			1		1			兼2
		英語プレゼンテーション初級Ⅰ	1・2前	2		○					4			兼2
		英語プレゼンテーション初級Ⅱ	1・2後	2		○					4			兼2
		小計（6科目）	—	12			—		1	1	5			兼4
	第 二 外 国 語	ドイツ語Ⅰ	1前	2		○								兼1
		ドイツ語Ⅱ	1後	2		○								兼1
		フランス語Ⅰ	1前	2		○								兼1
		フランス語Ⅱ	1後	2		○								兼1
		中国語Ⅰ	1前	2		○								兼1
		中国語Ⅱ	1後	2		○								兼1
		朝鮮語Ⅰ	1前	2		○								兼1
		朝鮮語Ⅱ	1後	2		○								兼1
		小計（8科目）	—	16			—							兼4
合計（46科目）			—	26	59		—		8	2	9			兼21

教 育 課 程 等 の 概 要 （ 既 設 ）																
(文学部文学科)																
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
専門科目	必修	日本文学専攻	日本文学入門	1前	2			○			2		1			オムニバス
			日本文学概説Ⅰa	1Q1	1			○			1					
			日本文学概説Ⅰb	1Q2	1			○			1					
			日本文学概説Ⅱa	1Q3	1			○			1					
			日本文学概説Ⅱb	1Q4	1			○			1					
			日本語学概説Ⅰ	1前	2			○			1					
			日本語学概説Ⅱ	1後	2			○			1					
			日本文学史Ⅰ	2前	2			○					1			
			日本文学史Ⅱ	2後	2			○			1					
		英米文学専攻	海外留学・英語学・英米文学入門a	1Q1	1			○					2			兼1 オムニバス オムニバス
			海外留学・英語学・英米文学入門b	1Q2	1			○				1	1			
			英語学概論Ⅰ	1前	2			○					1			
			英米文学概論Ⅰ	1前	2			○					1			
			English Presentation (Intermediate)Ⅰ	2前	2				○				1			
			English Presentation (Intermediate)Ⅱ	2後	2				○				1			
			World Culture through EnglishⅠ	2前	2				○				1			
			World Culture through EnglishⅡ	2後	2				○				1			
	心理学専攻	心理学概論A	1前	2			○			1		1			オムニバス オムニバス	
		心理学概論B	1前	2			○			1		1				
		心理学統計法Ⅰ	2前	2			○					1				
		心理学統計法Ⅱ	2後	2			○					1				
	小計（21科目）			—	36			—			6	1	9			兼1
	選択必修	歴史学専攻	日本史概説Ⅰ	1前	2			○			1					
			日本史概説Ⅱ	1後	2			○				1				
			西洋史概説Ⅰ	1前	2			○					1			
			西洋史概説Ⅱ	1後	2			○					1			
			東洋史概説Ⅰ	1前	2			○					1			
東洋史概説Ⅱ			1後	2			○					1				
考古学概説Ⅰ			1前	2			○					1				
考古学概説Ⅱ			1後	2			○					1				
小計（8科目）			—	16			—			1	1	3				

教 育 課 程 等 の 概 要 (既 設)																	
(文学部文学科)																	
科目 区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
専 門 科 目	選 択	日 本 文 学 専 攻	日本語表現法Ⅰ	1前		2		○					1			兼1	
			日本語表現法Ⅱ	1後		2		○					1				
			現代文章論	1後		2		○			1						
			漢文学講読Ⅰ	2前		2		○					1				
			漢文学講読Ⅱ	2後		2		○					1				
			古典文学講読Ⅰ	2前		2		○					1				
			古典文学講読Ⅱ	2後		2		○					1				
			近・現代文学講読A	2前		2		○									兼1
			近・現代文学講読B	2後		2		○			1						
			評論の読み方	2後		2		○					1				
			日本語教育学Ⅰ	2前		2		○			1						
			日本語教育学Ⅱ	2後		2		○			1						
			地域と文学a	2Q1		1		○			1						
			地域と文学b	2Q2		1		○			1						
			現代文章実践	2前		2		○			1						
			書道(書写実習)	3通		2		○			1		1				兼1
			古典文学演習	3通		4			○				1				
			近・現代文学演習A	3通		4				○							兼1
			近・現代文学演習B	3通		4				○		1					
			近・現代文学演習C	3通		4				○		1					
			日本語学演習	3通		4				○		1					
			日本語教授法	3前		2											兼1
			日本語教育実習	3後		1					○						
			古典文学特殊講義	3後		2			○					1			兼1
			近・現代文学特殊講義A	3前		2			○			1					
			近・現代文学特殊講義B	3後		2			○			1					
			日本語学特殊講義	3前		2			○			1					
			社会言語学Ⅰ	2前		2			○								兼1
			社会言語学Ⅱ	2後		2			○								
			日本語史概説Ⅰ	2前		2			○								兼1
			日本語史概説Ⅱ	2後		2			○								
			創作入門	3前		2			○			1					兼1
			創作実践	3後		2			○			1					
			新聞学講義	3前		2			○								兼1
			総合日本文学	3後		2			○								
			島清恋愛文学講座Ⅰ	1後		2			○			1					兼1
			島清恋愛文学講座Ⅱ	2後		2			○			1					
			島清恋愛文学講座Ⅲ	3後		2			○								
			国語科教育法Ⅰ	2通		4			○					1			兼3
			国語科教育法Ⅱ	3通		4			○					1			
小計(40科目)			—		91		—			4		2					

(文学部文学科)

基本計画書-12

教 育 課 程 等 の 概 要 (既 設)																
(文学部文学科)																
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門科目	選択	歴史学専攻	保存科学概説Ⅰ	1前		2		○								兼1
		保存科学概説Ⅱ	1後		2		○									兼1
		自然地理学概説Ⅰ	1前		2		○									兼1
		自然地理学概説Ⅱ	1後		2		○									兼1
		人文地理学概説Ⅰ	1前		2		○									兼1
		人文地理学概説Ⅱ	1後		2		○									兼1
		地誌	2前		2		○									兼1
		古文書学演習Ⅰ	2前		2				○		1					
		古文書学演習Ⅱ	2後		2				○			1				
		文献資料研究法Ⅰ	2前		2			○				1				
		文献資料研究法Ⅱ	2後		2			○			1					
		日本経済史	2後		2			○			1					
		古代・中世史演習Ⅰ	3前		2				○		1					
		古代・中世史演習Ⅱ	3後		2				○		1					
		近世史演習Ⅰ	3前		2				○			1				
		近世史演習Ⅱ	3後		2				○			1				
		近代史演習Ⅰ	3前		2				○			1				
		近代史演習Ⅱ	3後		2				○		1					
		日本史特殊講義	4前		2				○							兼1
		東洋史文献講読Ⅰ	2前		2				○				1			
		東洋史文献講読Ⅱ	2後		2				○				1			
		東洋史演習Ⅰ	3前		2					○			1			
		東洋史演習Ⅱ	3後		2					○			1			
		東洋史特殊講義	4前		2				○				1			
		西洋史文献講読Ⅰ	2前		2				○				1			
		西洋史文献講読Ⅱ	2後		2				○				1			
		西洋政治史	2前		2				○				1			
		西洋史演習Ⅰ	3前		2					○			1			
		西洋史演習Ⅱ	3後		2					○			1			
		西洋史特殊講義	4前		2				○				1			
		考古学演習Ⅰ	2前		2					○			1			
		考古学演習Ⅱ	2後		2					○			1			
		考古学演習Ⅲ	3前		2					○			1			
		考古学実習Ⅰ	3前		2					○			1			兼1
		考古学実習Ⅱ	3後		2					○			1			オムニバス
		考古学特殊講義	4前		2				○				1			
		保存科学演習Ⅰ	2前		2					○						兼1
		保存科学演習Ⅱ	2後		2					○						兼1
		文化財と自然科学	2前		2				○							兼1
		文化財の保護と活用	2後		2				○				1			オムニバス
		政治学概論	2前			2		○					1			兼1
		社会科・地歴科教育法	3通			4		○			1					兼1
		社会科・公民科教育法	2通			4		○								オムニバス
		小計（43科目）	—		88	2	—			1	1	3			兼7	

教 育 課 程 等 の 概 要 （ 既 設 ）																			
（文学部文学科）																			
科目 区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手				
専 門 科 目	選 択	心 理 学 専 攻	学習・言語心理学	1後		2		○			1								
			動物・比較心理学	2前		2		○			1								
			知覚・認知心理学	2前		2		○			1								
			神経・生理心理学	3後		2		○			1								
			認知学習心理学演習Ⅰ	3前		2			○		1								
			認知学習心理学演習Ⅱ	3後		2			○		1								
			発達心理学	1後		2		○			1								
			感情・人格心理学	2前		2		○			1								
			対人関係の心理学	3後		2		○			1								
			発達心理学演習Ⅰ	3前		2			○		1								
			発達心理学演習Ⅱ	3後		2			○		1								
			臨床心理学概論	1後		2		○					1						
			心理学的支援法	2前		2			○				1						
			健康・医療心理学	2後		2		○					1						
			臨床心理学演習Ⅰ	3前		2			○				1						
			臨床心理学演習Ⅱ	3後		2			○				1						
			社会・集団・家族心理学	2前		2		○					1						
			産業・組織心理学	3前		2		○					1						
			社会心理学演習Ⅰ	3前		2			○				1						
			社会心理学演習Ⅱ	3後		2			○				1						
			心理学文献講読	2後		2			○			2		2					
			心理学研究法ⅠA	2前		2					○			2			オムニバス		
			心理学研究法ⅠB	2前		2					○			2			オムニバス		
			心理学研究法Ⅱ	3前		2				○		1							
			心理学実験ⅠA	2後		2					○	1		1			オムニバス		
			心理学実験ⅠB	2後		2					○	1		1			オムニバス		
			心理学実験Ⅱ	3後		2				○		1							
			心理演習	3前		2					○	1							
			心理的アセスメント	3後		2					○			1					
			福祉心理学	2前		2			○								兼1		
			教育・学校心理学	2後		2			○			1							
			障害者・障害児心理学	3前		2			○								兼1		
			司法・犯罪心理学	4前		2			○			1		1			オムニバス		
			人体の構造と機能及び疾病	2前		2			○								兼2		
			精神疾患とその治療	3後		2			○								オムニバス		
			関係行政論	2Q3		1			○					1			兼1		
			公認心理師の職責	3Q1		1			○					1					
			心理実習	4後		2					○	1							
			小計（43科目）			—		74		—			2		2			兼4	
			専門科目計（186科目）			—	52	343	2	—			8	2	11			兼12	
			学 科 共 通 専 門			地域実践研究Ⅰ	2前		2			○		1					
						地域実践研究Ⅱ	2後		2			○		1					
						海外演習A	1～4通		2		○			1					
海外演習B	1～4通					2		○			1								
小計（4科目）	—					8		—			1								
プレ卒業研究演習	3通	4							○		8	2	11			兼2			
卒業研究	4通	8							○		9	2	9			兼2			
小計（2科目）			—	12			—			9	2	11			兼3				
学科共通科目合計（7科目）			—	12	8		—			9	2	11			兼3				
合計（238科目）			—	90	402	2	—			8	2	11			兼12				
学位又は称号			学士（文学）		学位又は学科の分野				文学関係										
卒 業 要 件 及 び 履 修 方 法									授業期間等										
教養科目の必修科目から15単位、選択科目から17単位以上、第一外国語12単位、第二外国語科目から4単位以上、専門科目から80単位以上を修得し、合計128単位以上修得しなければならない。 ただし、専門科目は、専門基礎科目において各専攻毎に定める必修科目のほか、専門基礎科目から20単位以上を修得しなければならない。 なお、年間の履修科目の登録の上限は48単位以内とする。									1学年の学期区分				2学期						
									1学期の授業期間				15週						
									1時限の授業時間				90分						

授業科目の概要			
（人文学研究科 心理学専攻修士課程）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	保健医療分野に関する理論と支援の展開	保健医療分野における公認心理師の実践について学ぶ。保健医療の現場において効果的な実践を行うには、臨床心理学的問題を抱えた人への関わりや情報のききとりと見立て、そして適切な報告および多職種での連携を行う必要がある。本科目では病院・診療所・保健所等における活動内容やそのプロセスについて整理し、理解を深める。一般的な疾患やその診断基準についての知識を習得し、心理的な不適応のみならず身体科の疾患を抱えた患者への支援に関わる理論についても学ぶ。	
	福祉分野に関する理論と支援の展開	福祉分野における公認心理師の実践について学ぶ。子どもに関するテーマとして虐待・発達障害・子育て支援の法規・理論・実践を、障害者・高齢者に関するテーマとして発達障害・認知症・虐待についての法規・理論・実践を学ぶ。障害を抱える本人のみならず家族への心理支援に関して理解を深めるとともに、児童相談所、療育施設、心身障害者福祉センター、障害者作業所、女性相談センター、老人福祉施設等における支援活動の実際についても整理する。	
	教育分野に関する理論と支援の展開	教育分野における公認心理師の実践について学ぶ。現代の学校や児童・生徒をとりまくいじめや不登校、発達障害といった問題やそれらに関連する法規を整理するとともに、学校を通して多職種が連携して子どもを育むための活動の内容とプロセスについて理解を深める。学習面での指導のみならず、キャリア教育や多様なバックグラウンドを持つ学習者への配慮といった学校現場において行われる多岐にわたる教育内容や対応についても確認する。加えて、小学校でのスクールカウンセリングから大学での学生相談までを視野に入れ、コンサルテーションや緊急支援や集団での守秘義務といった臨床心理学的実践を行う上での配慮についても習得する。	
	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	司法・犯罪分野における公認心理師の実践について学ぶ。犯罪とそれに関わる心理学的理論を整理し、触法精神障害者や依存や嗜癖の問題を抱える者への対応等についても習得する。犯罪傾向やリスクのアセスメント、司法面接、精神鑑定、矯正・社会適応に向けた処遇、犯罪の予防、犯罪被害者の臨床心理学的支援に関して理解を深めるとともに、家庭裁判所、少年鑑別所、刑務所、拘置所、少年院、保護観察所、児童自立支援施設、警察関係相談機関における支援活動の実際についても整理する。	

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 科 目	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	産業・労働分野における公認心理師の実践について学ぶ。現代の労働市場や職業に関する理論・社会制度を概観し、労働者の心理的健康に関わる要因について、採用から退職までの支援やハラスメント、ワークライフバランスといったテーマを題材に整理していく。企業内メンタルヘルス向上をめざす臨床心理学的支援の理論や連携に向けたスキルを獲得し、企業内相談室、企業内健康管理センター、安全保健センター、ハローワーク、障害者職業センター等における支援活動の実践についての理解も深める。	
	心理的アセスメントに関する理論と実践	臨床心理学的支援の主要プロセスを構成する心理的アセスメントについて知識と技能を習得する。アセスメントの意義、面接・検査・観察等を通じた方法の利点と限界、それらを活かした検査バッテリーの組み方について考察し理解を深める。知能検査、性格検査、発達検査、神経心理学的検査を実施し、分析の上で報告書を作成する体験を通し、各種検査の特徴を実践的に学ぶ。得られた情報をどのようにまとめて被検査者や関係者にフィードバックするのか、そして多様な現場で他の専門家とどのように情報を活かすかについても理解したうえでアセスメントを行えるようになることを目指す。	共同
	心理支援に関する理論と実践	臨床心理学的支援の核となるプロセスである相談・助言その他の援助である心理支援についての理論と実践を学ぶ。心理療法の主要理論として力動論、行動論・認知論、その他の心理療法の理論と方法、応用、事例検討とスーパービジョンについて整理する。エビデンスに基づいて適切な介入を選択すること、援助プロセスの評価についても理解を深める。	共同
	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	公認心理師は、援助を要する者の関係者への助言・相談を行う場面を多く経験する。本科目ではこれをふまえ、家族心理学や集団心理学、コミュニティ心理学の知見を整理し、それらを臨床心理学的援助に応用する技法について学ぶ。援助を要する者の家族関係や周囲の環境も含めたアセスメント、関係者への助言・相談、家族や地域社会あるいは多職種との協働について知り、自助グループのサポートやアクションリサーチといった実践活動についても理解を深める。	
	心の健康教育に関する理論と実践	人々の心の健康の維持・向上をめざした心の健康教育の活動は公認心理師の使命である。本科目では予防的な心理支援の中心となる心の健康教育について、心理教育や嗜癖等の問題、地域援助との関連もふまえながら理論と技法を整理していく。災害時の危機介入やコミュニティへの支援についても理解を深める。	共同
	心理実践実習A	公認心理師が行う実践活動の実際を学ぶ上での初歩的な位置づけとなる実習科目である。主に本科目では心理に関する支援を要する者等に関する(1)コミュニケーション、(2)心理検査、(3)心理面接、(4)地域支援等について、学内外の施設における見学を中心に理解を深める。他科目で習得・整理した臨床心理学的支援に関する知識や技能が実践現場でどのように用いられ、国民の心の健康の保持増進に活用されているのかを考察する。	共同

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 科 目	心理実践実習B	心理実践実習Aで体得する知識及び技能を生かしながら、ケース全体や要支援者像を総合的にとらえられるようになるための実習科目である。主に本科目では心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成について、学内外の施設における見学およびケース担当、カンファレンスでの検討等で理解を深める。他科目で習得・整理した臨床心理学的支援に関する知識や技能が実践現場でどのように用いられ、国民の心の健康の保持増進に活用されているのかを考察し、一部の技法については実践できるようになることを目指す。	共同
	心理実践実習C	心理実践実習Aおよび心理実践実習Bで習得した実践的な知識や技法を踏まえ、本科目では心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、他職種連携および地域連携についても理解した上で臨床心理学的支援を行えるようになることを目標とした実習である。支援の現場においては要支援者とその関係者への支援も視野に入れた活動、他の専門職との連携・協働が求められる。学内外の施設内の関係者にとどまらず、地域支援の多様な立場の専門職が国民の心の健康の保持増進のために行っている活動について理解し、実践できることをめざす。適切な情報共有と守秘義務のバランス感覚やコミュニケーションスキル等を、見学、ケース担当、カンファレンス、スーパーヴィジョンで習得する。	共同
	心理実践実習D	心理実践実習Cと並行し、公認心理師という専門職としての職責を満たすためにふさわしい、エビデンスに基づいた省察的实践を行えるようになることを目指す実習である。学内外施設での実習およびその振り返りを通して、アセスメント、適切な支援法の選択、他の関係者との連携、コミュニティ全体を視野に入れた支援等を理解・実践する。公認心理師としての活動全体を俯瞰的にとらえ、職業倫理および法的義務への理解を深めることを目標とする。	共同
	計量心理学特論Ⅰ	科学としての心理学を実践するため必要不可欠な道具である各種の統計技法のうち、多変量解析についての理論と実践を学ぶ。多変量解析の手法は多岐に渡り、研究の目的と収集される情報の性質に応じて適切に選択して使い分ける必要がある。心理学において利用されることが多い重回帰分析、ロジスティック回帰分析、因子分析、主成分分析、判別分析、クラスター分析、MDS、MANOVAを取り上げ、分析を実行するために必要となる理論知識を学ぶとともに、ソフトウェアを用いた具体的な実行方法について習得する。	
	計量心理学特論Ⅱ	科学としての心理学を実践するため必要不可欠な道具である各種の統計技法のうち、多変量解析の中でも汎用性の高い技法である共分散構造分析（SEM）についての理論と実践を学ぶ。SEMは分析仮説に応じて柔軟に推定モデルを構成することが可能だが、これを自由に使いこなすためには基礎的な理論に関する理解が必要となる。またソフトウェアの使い方も比較的複雑であり、様々な実践的ノウハウも重要となる。理論の講義とソフトウェアを用いた実習を並行して行うことで、心理学の研究においてSEMを利用できる総合的な能力を習得する。	
	行動分析学特論Ⅰ	行動療法を構成する種々の技法は、技能訓練や習慣の改善、障害を持つ子どもの療育、矯正教育、リハビリテーションなどの幅広い分野に応用されている。これらの技法の根底には学習理論と行動分析の考え方がある。この科目では、行動分析の理論について、その基礎をなす実験的行動分析を学び、先行条件・弁別刺激などの環境・状況要因と強化・弱화가、行動を習得・維持させる機構および制御する機構について理解する。	

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門 科目	行動分析学特論Ⅱ	実験室的環境で検証されてきた行動分析の理論は、発達障害の子どもの療育や、学校環境での不適応行動・問題行動の理解といった現実場面にも応用されており、こちらは応用行動分析と呼ばれる。本科目では、応用行動分析の考え方およびその実践について理解すると同時に、現実場面での効果測定には必須の少数事例・1事例の実験デザインなどの研究手法を学び、応用行動分析を用いた援助の手法を習得することを目的とする。	
	心理支援法演習	心理支援を行うためには、要支援者のアタッチメントの特徴や有しているソーシャルサポート源といった、精神的健康に関連する対人関係の要素を理解することが必要となる。本科目では、対人関係の発達を理解した上で、エビデンスに基づいた支持的精神療法について学ぶことを目的とする。支援者が対象者に対して支持的に関わり続けるために必要な知識、技能、技法の習得を目指す。	
	高齢者臨床心理学演習	日本は高齢社会であり、高齢者やその関係者が臨床心理学の援助の対象となる場合も少なくない。しかし高齢者支援に携わる多くの専門家は自身が高齢期を経験していない場合が多く、援助に際して困難を感じることも少なくない。本科目ではこのような背景をふまえ、高齢者のメンタルヘルス、認知症、発達課題、喪失、介護等をキーワードとして高齢者心理学について整理する。加えて、生物-心理-社会モデルに基づいた高齢者支援の臨床心理学についての実践的な知識を習得することをめざす。	
	プロトコル分析演習Ⅰ	プロトコル分析の一種であるテキストマイニングに焦点をあて、同手法を用いた事例を概観しながら具体的な分析方法について学ぶ。テキストエディタや計算ソフトの基本操作の復習から始め、質的データであるテキストから必要な情報を抽出して量的データに変換するための技術として、正規表現やプログラムを用いたパターン分析の方法を身につける。	
	プロトコル分析演習Ⅱ	プロトコル分析の一種であるテキストマイニングに焦点をあて、同手法を用いた事例を概観しながら具体的な分析方法について学ぶ。『プロトコル分析演習Ⅰ』の内容を踏まえ、抽出されたデータを分析する手法として、カイ二乗分析やクラスター分析等の推測統計を実践的に学ぶ。また、結果を考察するための基本的知識を習得し、論文・口頭発表等における効果的な表現方法について理解を深める。	

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	特論演習	研究指導は、原則として指導教員の担当する特論演習を軸に、「修士論文指導」を組み込んで実施する。研究テーマの設定にあたっては、指導教員の研究分野を勘案しながら、入学時に想定しているテーマの妥当性を含めて十分に話し合い、決定していく。なお、必要かつ妥当と判断される場合には、複数の教員による指導体制をとることとする。 (1 中崎崇志) この演習では、受講生の関心に合わせて、主に実験的行動分析や応用行動分析および少数事例の実験デザインに関する文献講読と発表を通じて、修士論文のための研究計画を策定し、実証研究に必要なとなる知識と技法の習得を目指す。 (2 前川浩子) この演習では受講生の研究テーマの関心に合わせながら、発達心理学や発達精神病理学に関する文献の講読と発表を通じ、修士論文のための研究計画を練り、実証研究に向けた知識と技術の習得を目指す。 (3 坂東貴夫) この演習では、受講者の関心に合わせながら、テキストアナリティクスに基づく修士論文を完成させるための指導を行う。 (4 大上真礼) この演習では、受講者の関心に合わせながら、主に心理学的支援や心の健康に関する先行研究の講読を通じて、修士論文のテーマの設定、研究背景の整理、実証的調査のデザインや分析・考察に必要なとなる知識と技法の習得を目指す。 (5 室橋弘人) この演習では、受講生のテーマや関心に合わせて広く心理学に関わる文献の講読や発表を行うことを通じて、修士論文のための研究計画を練り上げるとともに、これを実施するために必要な技術を習得することを目指す。	

学校法人金沢学院大学 組織の移行表

令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
金沢学院大学				金沢学院大学				
		3年次				3年次		
文学部	180	8	736	文学部	180	8	736	
文学科	180	8	736	文学科	180	8	736	
		3年次				3年次		
教育学部	70	5	290	教育学部	70	5	290	
教育学科	70	5	290	教育学科	70	5	290	
		3年次				3年次		
経済学部	180	10	740	経済学部	180	10	740	
経済学科	110	5	450	経済学科	110	5	450	
経営学科	70	5	290	経営学科	70	5	290	
		3年次				3年次		
経済情報学部	70	－	280	経済情報学部	70	－	280	
経済情報学科	70	－	280	経済情報学科	70	－	280	
		3年次				3年次		
芸術学部	70	2	284	芸術学部	70	2	284	
芸術学科	70	2	284	芸術学科	70	2	284	
		3年次				3年次		
スポーツ科学部	150	10	620	スポーツ科学部	150	10	620	
スポーツ科学科	150	10	620	スポーツ科学科	150	10	620	
		3年次				3年次		
栄養学部	80	5	330	栄養学部	80	5	330	
栄養学科	80	5	330	栄養学科	80	5	330	
大学計	800	40	3280	大学計	800	40	3280	
金沢学院大学大学院				金沢学院大学大学院				
経営情報学研究科	14	－	32	経営情報学研究科	14	－	32	
経営情報学専攻(M)	10	－	20	経営情報学専攻(M)	10	－	20	
経営情報学専攻(D)	4	－	12	経営情報学専攻(D)	4	－	12	
人文学研究科	5	－	10	人文学研究科	9	－	18	
人文学専攻(M)	5	－	10	人文学専攻(M)	5	－	10	
				心理学専攻(M)	4	－	8	研究科の専攻の設置(届出)
スポーツ健康学研究科	5	－	10	スポーツ健康学研究科	5	－	10	
スポーツ健康学専攻(M)	5	－	10	スポーツ健康学専攻(M)	5	－	10	
大学院計	24	－	52	大学院計	28	－	60	
金沢学院短期大学				金沢学院短期大学				
食物栄養学科	60	－	120	食物栄養学科	60	－	120	
現代教養学科	50	－	100	現代教養学科	50	－	100	
幼児教育学科	50	－	100	幼児教育学科	50	－	100	
短期大学計	160	－	320	短期大学計	160	－	320	